

同志社メンズ・ヴォーカル・カルテット・コンサート

DOSHISHA

Men's Vocal Quartet

Concert

©FEBRUARY, 4-Saturday, 2017 ©同志社大学「寒梅館」ハーディーホール

THE WILD ROVERS

Ragtime

MALE QUARTET

FOUR  **4**

二度とない!?

男声カルテット

待望の競演

PROGRAM

GREETING

本日はご多忙の折、「同志社メンズ・ヴォーカル・カルテット・コンサート」にご来場賜り、誠に有難うございます。

この春、創設113年を迎えます同志社グリークラブのOB仲間が、ハモル事が大好きで、長年カルテット・グループとして今日まで活動して参りました。

私たちグリークラブでは、昭和29年に「シルバーゲイト・カルテット」が誕生致しました。当時、アメリカの伝説的なグループ『ゴールデンゲイト・カルテット』に肖ったものです。

そのグリーメンのカルテットは、昭和51年まで代々受け継がれました。これから出演する各グループの原点は、まさしくその「シルバーゲイト・カルテット」なのです。

そして今、その3組の「男声カルテット」が一堂に会し、今後、二度と実現しないかもしれない「待望の競演」を果たします。

本日のお客様は出演者や実行委員会スタッフと直接・間接的に何らかのご縁があつてご来場頂きました。まさしく「出逢いは心の花」だと存じます。

“なずな”花咲く土曜の午後、リラックスしてお楽しみ頂ければ幸いです。

同志社メンズ・ヴォーカル・
カルテット・コンサート
実行委員会代表

後藤
健夫



このたび同志社グリークラブのOBで結成された3組のカルテットの演奏会が開かれます。同志社グリークラブは創部112年の歴史を有し、日本の大学グリークラブの魁としての位置を占めています。

その間、アメリカのリンカーンセンターで演奏会を開くなど、世界から高い評価を得ています。在学生は入学式のおりにグリークラブが奏でる大学歌やカレッジソングや賛美歌を聴きながら、希望に胸を膨らませて同志社大学の門をくぐられた事と思います。また、卒業式にもグリークラブの歌声に送られて、多くの同窓生が名残を惜しみながら同志社大学を旅立って行きました。

このように、グリークラブは同志社大学にとっては、無くてはならない文系サークルの筆頭でもあります。

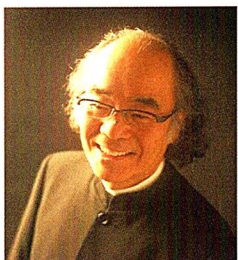
今回の演奏会に出演するOBは、55歳から上は77歳まで、いずれも同志社大学を卒業してから35年から55年目のベテランに属す人々です。それぞれ様々な人生を経験してきましたが、歌うことに関しては大学時代と変わらない情熱を持ち続けています。

いま再び同志社に戻り、青春時代に結ばれた強い友情と母校同志社大学に対する深い愛情に支えられて、このコンサートを開きます。

どうぞ最後までお楽しみください。

同志社大学体育会 会長
同志社大学ラグビー部 部長

沖田 行司



同志社グリークラブOBの選りすぐりのつわものどもの企画による本日の「カルテット3グループ演奏会」大変うれしく思います。

私は、ダーク・ダックス、デューク・エイセス、ボニー・ジャックスの3グループを聴いて育って来ました。大学卒業後、その中のひとつから、トップテノールを歌ってくれないかとお誘いをうけたのですが、その頃から映像の伴うテレビが普及し始めたため、自分の顔を鏡で見てご辞退しました。

その後、私は合唱指揮をすることだけで今日を迎えましたが、今日歌われる3グループは見事な団結によりカルテットを楽しんでこられました。

フォーバイフォーをお創りになり、現役時代、私をずっと面倒みて下さった長谷川邦男先輩が今このステージにお立ちにならないことが一番つらく淋しい限りです。

ご出演の皆様には、この会場の何処かの席でお聴きになっているに違いない長谷川邦男先輩に捧げて、演奏して下さることを願います。

同志社グリークラブOB:昭和37年卒

浅井 敬 壹



「同志社メンズ・ヴォーカル・カルテット・コンサート」が開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

本日のご出演の皆様は、全員が同志社グリークラブOBでいらっしゃいます。

学生時代から培われた音楽を心から楽しむ活動を、卒業後も衰えるどころか、拍車がかかったように、20年、30年・・・と続けてこられました。

創立112年を迎えた「同志社グリークラブ」の合言葉は、《メンタル・ハーモニー》又、設立40周年を迎えた「同志社グリークラブOB会」の活動目的は、《会員相互の親睦》と《現役支援》です。

コーラスで音楽を表現するには、歌う人が先ず心を一つにすることが重要です。

本日のカルテット・グループ三組の皆様は、正にこのメンタル面でのハーモニー、すなわち、《メンバー相互の親睦》を何十年も続けてこられた成果だと思えます。

そして、本日もお集りの人々の心を明るくする歌声を披露して戴けるでしょう。

最後になりましたが、ご多忙の中ご来場いただきました皆様に厚くお礼申し上げますとともに、本日のコンサートの大成功を祈念いたします。

同志社グリークラブOB会 理事長

芦田 直 幸

二度とない!?

男声カルテット

待望の競演

PROGRAM

PROGRAM

1

THE WILD ROVERS

I) Love Is A Many Splendored Thing

作詞 : P. F. Webster

作曲 : S. Fain

II) All My Loving

作詞 : J. Lennon

作曲 : P. McCartney

III) Stand Alone

作詞 : 小山 薫堂

作曲 : 久石 譲

IV) Memory

作詞 : T. Nunn, T. Eliot

作曲 : A. L. Webber

1st Stage

個性の競演!!

2

Ragtime

I) John Henry

作曲 : Folklore

II) Peace In The Valley

作曲 : Thomas A. Dorsey

III) Till

作詞 : Carl Sigman

作曲 : Charles Danvers

IV) The Little Brown Church In The Vale

作曲 : Williams S.Pitts

3

MALE QUARTET FOUR⁴

I) Day By Day

作詞 : Sammy Cahn

作曲 : Axel Stordahl、 Paul Weston

II) Poinciana

作詞 : Buddy Bernier

作曲 : Nat Simon

III) Bye Bye Blackbird

作詞 : Mort Dixon

作曲 : Ray Henderson

IV) Stardust

作詞 : Mitcel Parish

作曲 : Hoagy Carmichael

V) Lover, Come Back To Me

作詞 : Oscar Hammerstein II

作曲 : Sigmund Ronberg

2nd Stage

本邦、初企画!!

セカンド・ステージはリスナーからのリクエスト・ショー

PROGRAM

●各グループ、リスナーのリクエストにどう応えるか、お楽しみに!
リスナーからのリクエストがたくさん届きます。3つのグループそれぞれの魅力と特長を活かし
て、どんなカタチで聴かせてくれるのか、魅せてくれるのか、ご期待ください。

ステージが
「スタジオ」に
早変わり.....

ON
AIR

お好きな曲をあなたに



PROFILE

司会者 **北川 まみ**



●PROFILE

奈良県生駒市出身。同志社大学を卒業後、「土曜・藤崎ぶ〜ケット」や「おうみ!かわら版」など、関西各局のリポーターや、各種商品のPRムービー等のナレーション、英会話の特技を活かした「パンナム空港」の英語ナレーション、さらに「大阪マラソン」などのイベントから、各種キャンペーンのMCや司会、テレビドラマへの出演まで、幅広く活躍。

現在は

- FM802報道センター
「NEADLINE NEWS」「WEATHER INFORMATION」
- 奈良テレビ
「ゆうドキッ!」内 いきいきまちだより 17:58~18:54(金)
- eo光チャンネル
「ゲッキン」 17:00~18:00(火)に出演中

THE WILD ROVERS

■バンドメンバー

- キーボード:村中 伸一
- ピ ア ノ:村中 真弓

Ragtime

■バンドメンバー

- ピ ア ノ: 橋本 里美
- キーボード:吉田 貞夫
- A サックス:
- フルート:井上 孝

MALE QUARTET FOUR 4

■バンドメンバー

- ピ ア ノ:橋本 里美
- ベース:池内 健一
- ドラムス:北脇 城
- トランペット:竹岡 成典

THE WILD ROVERS

同志社グリークラブOBで、1983年結成。
大阪メルパルクホールなどで8回リサイタル

を開催。APEC'95大阪(アジア太平洋経済協力会議)の公式行事出演、北野タダオとアロージャズオーケストラとのジョイントコンサート、よみうり24時間TV「愛の歌声は地球を救う」など出演。結成10周年に組曲「おおさかグラフィティ」(島田陽子・詩、前田憲男・曲)を委嘱作品として初演、大阪府知事表彰(地域文化)。この曲のCDと楽譜がビクターエンタテインメントとカワイ楽譜から出版される。結成30周年を記念して、2013年から東京、京都、名古屋、広島、博多、大阪、神戸でコンサートを開催。2015年マレーシア演奏旅行、2016年には大阪新阪急ホテルで、初のディナーショーを行った。グループ名は、新島襄が自由を求めアメリカへ密航したときの帆船「ワイルド・ローバー」号にちなむ。



●トップテナー:萩原 潤三 (S49年卒)

同期が四人だったのでフェアウェルコンサート無しで卒業。
故に未だに現役へのこだわりが尽きる事はありません。

●リードテナー:平井 雅則 (S48年卒)

待ちに待った初の3カルテットのジョイントライブですね。
協演、共演、競演…。各チーム緊張ほぐして素敵に響演したいですね。

●バリトン:金子 悦文 (S49年卒)

長谷川先輩にお世話になった者達が、今日一同に会し、共に歌います。
先輩に感謝と追悼の意をこめて。

●ベース:中村 徹夫 (S49年卒)

二度とない!?…「また、やって!?」→こわいもの見たさ。
「また、やろう!?」→こわいもの知らず。 何度でも、人の心にハーモニー…。

Ragtime

同志社ホザナコーラスやグリークラブで合唱活動に励むとともに、カルテットにも親

しんだメンバーが中心となって、15年前に「ラグタイム」を結成。初めはバーバーショップなどのアカペラ曲やスピリチュアル曲でハーモニーを楽しむ。同窓会やいろいろな施設のイベント等で演奏活動を開始。その後、キーボード等の多彩な伴奏が加わり演奏スタイルやレパートリーが大きく広がっていった。主にポップス(オールデイズ、映画音楽、スタンダード、スピリチュアル等)に加えて讃美歌や日本の歌など親しみやすいレパートリーやハーモニーで、ライオンズクラブ、YWCA、YMCA、また同窓会や各種イベント、教会のサーヴェイスや病院ロビーコンサートなど、幅広い演奏活動を行っている。Ragハウスや岡崎NAMホール、憧夢などでの単独LIVEを重ねる。



●トップテナー:小林 茂(S52年卒)

本日は、練習ごとに加えた新しいアレンジで歌います。
トランペットも封印して「メッチャヤバいやんRagtime!?!」

●リードテナー:土生 邦彦(S40年卒)

“二度とない”の言葉に押し出され、この歳で母校・寒梅館のステージでカルテット歌えるなんて、夢みたい! 皆さんのお蔭と心から感謝です。

●バリトン:磯部 俊英(S40年卒)

「ハモリは音の癖組みなり!」 個性的な声が織成されマジカルな音色を醸す。その瞬間、一番メンタル感じる。それが我々メンバーの大切な宝物である。

●ベース:木村 忠文(S41年卒)

60年前、中学2年の少年がシルバーゲイトカルテットの演奏を聴いて走り出し、今日その集大成としてステージに立っています。

FOUR by FOUR

Male Quartet “Four By Four” フォーバイフォー。

1981年、長谷川邦男が同志社グリークラブの同級生 田中忠男と西垣喜光、後輩 西村義之に声をかけ男声カルテット「フォーバイフォー」が誕生。

その後、ベース堀部勝也、テナー森島敏夫、バリトン佐藤道雄が参加。佐藤が入団した1989年から長谷川が亡くなる2013年まで、25年間にわたり同一メンバーで活躍。6回の単独リサイタルを成功させ、ディナーショーや各種ステージは300回を超える。2009年から一年半KBSラジオ「フォーバイフォー/言葉のハーモニー」に出演。2013年秋からトップテナーに常盤井志伸、専属ピアニストに橋本里美を迎え、活動を再開した。



●トップテナー:常盤井 志伸(S56年卒)

歌心のある長谷川先輩の代わりにトップとなりました。
新しいFOUR BY FOURのハーモニーを作れたらと思います。

●リードテナー:森島 敏夫(S53年卒)

還暦を迎え早々に定年退職。自由気ままな滋賀の田舎暮らしを満喫。
今は四つのコーラスに参加。なんとも浮き世離れた若隠居である。

●バリトン:佐藤 道雄(S37年卒)

今日の出演メンバーでは最高齢ということになりました。
まあ、ボケない程度の自然体でステージを務めるつもりです。

●ベース:堀部 勝也(S40年卒)

気が付けば75才。55年は「歌」と共に、井阪先輩との出会いによる「モダンアーズ」そして東京から帰洛して参加した長谷川邦男先輩の「フォーバイフォー」。
永遠に歌い続けられると錯覚していた…突然の長谷川先輩の死。
人生限りあることを知った本日のステージ。万感の喜びの中で歌う「ニューフォーバイフォー」!!

Blowin' in the Wind (風に吹かれて)

How many roads must a man walk down
Before you call him a man?
How many seas must a white dove sail
Before she sleeps in the sand?
Yes, and how many times must the cannon balls fly
Before they're forever banned?
The answer, my friend, is blowin' in the wind
The answer is blowin' in the wind

Yes, and how many years can a mountain exist
Before it's washed to the sea?
Yes, and how many years can some people exist
Before they're allowed to be free?
Yes, and how many times can a man turn his head
And pretend that he just doesn't see?
The answer, my friend, is blowin' in the wind
The answer is blowin' in the wind

Yes, and how many times must a man look up
Before he can see the sky?
Yes, and how many ears must one man have
Before he can hear people cry?
Yes, and how many deaths will it take 'till he knows
That too many people have died?
* (The answer, my friend, is blowin' in the wind
The answer is blowin' in the wind
※2回繰り返し

Song Writer : **Bob Dylan**

ご意見・ご感想をお寄せください。

よろしければ、本日の演奏会のご感想を2月14日(火)のバレンタインデーまでに、下記のメールアドレスまでお寄せください。
お待ちしております。

●Mail-Address : kuriakio@nifty.com
「Kuri Channel」まで

《同志社メンズ・ヴォーカル・カルテット・コンサート実行委員》

- 後藤健夫 (S39年卒)
- 北村昭雄 (S41年卒)
- 秋田洋二 (S41年卒)
- 栗山昭男 (S42年卒)
- 高橋 博 (S47年卒)
- 伏村淳二 (S51年卒)
- 岡田 哲 (S52年卒)
- 林 克己 (H05年卒)

二度とない!?
男声カルテット
待望の競演

同志社メンズ・ヴォーカル・カルテット・コンサート

DOSHISHA
Men's Vocal Quartet
Concert

MALE QUARTET
FOUR~~4~~
THE WILD ROVERS
Ragtime



日時 **2017.2.4** (SAT)
 ■開場時間/14:30
 ■開演時間/15:00
 会場 同志社大学「寒梅館」ハーディーホール
 入場料 お一人様**2,500**円(税込)
 お問い合わせ先:「Kuri Channel」E-mail / kuriakio@nifty.com

●地下鉄烏丸線「今出川」駅から徒歩1分
 ●京阪「出町柳」駅から徒歩20分

同志社
 メンズ・ヴォーカル・カルテット
 コンサート

2017.2.4
 (SAT)

■開場時間/14:30
 ■開演時間/15:00

同志社大学「寒梅館」
 ハーディーホール
2,500円(税込)
 (全席:自由席)